

大きな地震がおこったら

大きな地震がおこったら・・・

あわてずに行動しよう！！



©日井儀人/双葉社・シンエイ・テレビ朝日・ADK
リーフレット「緊急地震速報って知ってる!？」(気象庁)より

学校にいるときに地震がおこって、強いゆれがきました。その時あなたはどのようにしますか？

左のイラストは、地震の強いゆれから身を守る行動の例です。しんちゃんも防災ずきんをかぶり机の下にかくれています。このように頭を守ることは大切です。強いゆれがおさまるまで、このままでいましょう。

家の外では、ブロックベいが倒れてきたり、看板やガラなどが落ちてくるかもしれません。あぶない場所からはなれ、はなれましょう。その他にもいろいろな場面です。この行動をとれば良いかをみんなで考えてみましょう。



2017年	1月10日	火曜日
平成29年		
福岡管区气象台	〒810-0052	
防災調査課	福岡市中央区大濠 1-2-36	
電話	092-725-3614 (記事) 092-725-3600 (天気相談所)	
メール	fk-kanku@met.kishou.go.jp (ご意見・ご要望はこちらまで)	

緊急地震速報が聞こえたらすぐに身を守ろう！

福岡でも地震がおこるよ

日本では、いつでもどこにいても地震がおこる可能性があります。去年4月には熊本県で震度7の地震が2回発生し、大きな被害がありました。実は福岡県でも大きな地震がおきたことがあります。平成17年(2005年)3月20日に福岡県沖の玄界灘でおきた地震によって玄界島のほか、福岡市の中心部でも大きな被害がありました。

地震の被害を少なくするために、日頃の備えとして家具が倒れないようにしたり、高いところに重い物をおいたりしないようにしましょう。また、大きなゆれが来る直前にはテレビや携帯電話などで緊急地震速報が流れるので、これが聞こえたら、しんちゃんのよりに、すぐに頭や体を守る行動をとりましょう。

平成17年3月20日 福岡県西方沖の地震

地震の震源

凡例
震度7
震度6強
震度6弱
震度5強
震度5弱
震度4
震度3
震度2
震度1

地震によりこわれた家(玄界島)

- 行動のポイント**
- 緊急地震速報を見聞きしたら、すぐに身を守る行動をとる。
 - いきなり強いゆれがくるときもある。ゆれを感じたら、すぐに身を守る行動をとる。
 - 強いゆれが続いている間は身を守り続け、ゆれがおさまってから落ち着いて行動する。
 - 海岸に近いところでは、津波がくることがあるので、安全な場所に逃げましょう。

「訓練」はくりかえし行おう！

東日本大震災では、地震・津波避難訓練をくりかえし何度も行った学校で、全員が助かった例がありました。

いつ、おこるかわからない地震から身を守るためにはどうすればいいか、教室だけでなく、学校のあらゆる場所、登下校中、家庭においてどう行動するかを考えておくことが大切です。また、くりかえし訓練することで、とっさの行動を身に付けることができます。

気象庁ホームページには、三重県尾鷲市宮之上小学校で行われた地震津波避難訓練のビデオがのっていますので、ぜひ参考にしてください。

POINT
グラッと来たら身の安全!!

ビデオ時間は4分程度で、避難訓練のポイントが書かれています。

お天気 Q&A

Q: 地震の震度(ゆれの大きさ)は、いつできたの?

A: 震度ができたのは、今から133年前の1884年でした。その当時の震度は、人の体で感じた大きさにより、微震(すごく弱い)・弱震・強震・烈震(すごく強い)の4階級に分けられていました(今は10階級)。

1996年から震度は計測震度計という機器で自動的に観測できるようになりました。そのおかげで今は、地震がおこれば、すぐに各地の震度をテレビなどで見ることが出来ます。

気象情報へのアクセス

パソコン・スマホから

気象庁 検索

避難訓練のビデオは

津波からにげる 検索